

別冊

沖後風物詩集の代金がまだな
のい、至急お返し下さい。くださるよう
お返しします。
出版社のピンを投うためのもので、
年内に清書して済まなければなりません。
屋向政道氏からは送って頂きました。
尚、貴方の詩集が出版の件は、
出版社が落着き次第に打診して下さ
す。では、お急ぎをお願ひします。

貴方の東渡詩一特集号の作意等を
感謝します。惣師の面影を偲ぶ
数々の随筆・感想、左法先生な
ど、よくもなつかしく、神経の
強い伊波集を「用」してあらわ
るのに驚嘆しました。表紙の惣師
の字は奥も懐しく、札の上において対面
しながら創作の仕事に励んでいま
す。年内のニらー君、ありがとうございます。
惣師が言っているような気がします。
時どど、概ね御意を下さす。

別冊

七月十二日要領の速達便によると、
貴誌「東渡詩」を別送したとありま
した。あ、それから本日(十九日)まで、届か
ませんが、一作、どうしたのでしょうか。
拙稿掲載迄に待たず、遠く、送
送も水ではないかと、打診のため、この
かきを書いています。
伊波南哲下す。是はお内々合せまで。

寿新春

常盤なる松ぬ変わるくとねさみ
いちん春くりは色どまさる

(琉歌)

昭和五十一年元旦

〒188 東京都保谷市下保谷二一五一五
電話 〇四二四・二一八三六三

伊波南哲

〒188
東京都保谷市下保谷二一五一五
電話田無局(〇四二四)六三三六三
総合文化誌虹編集部
伊波南哲

ので当分は入院加療の必要があり、
失礼致すことと申します。
何卒悪しからず、比白々存じよう
と御意を下さす。

伊波南哲

総合文化誌虹編集部
伊波南哲

東京都保谷市下保谷二一五一五
伊波南哲